



平成27年11月4日

各 位

上場会社名 兼房株式会社
 代表者 取締役社長 渡邊 将人
 (コード番号 5984)
 問合せ先責任者 常務取締役 鈴木 仁
 (TEL 0587-95-2821)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月1日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,410	1,000	990	670	48.20
今回修正予想(B)	9,129	684	626	383	27.57
増減額(B-A)	△280	△315	△363	△286	
増減率(%)	△3.0	△31.6	△36.7	△42.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	8,760	930	1,082	700	50.40

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,090	1,970	1,970	1,330	95.68
今回修正予想(B)	18,080	1,320	1,230	770	55.39
増減額(B-A)	△1,010	△650	△740	△560	
増減率(%)	△5.3	△33.0	△37.6	△42.1	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	18,525	1,938	2,126	1,317	94.76

修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、国内における売上高が当初予想を下回る見込みであり、利益面につきましても利益率の良い一部の製品売上が減少したことに加え、当社個別及び海外生産子会社の生産性悪化により売上原価率が上昇したことなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも当初予想を下回る見込みであります。

通期の業績予想につきましても、当第2四半期累計期間の業績修正予想数値を加味し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも下方修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年5月1日発表)	—	7.50	—	21.00	28.50
今回修正予想	—	7.50	—	9.50	17.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成27年3月期)	—	7.50	—	21.00	28.50

修正の理由

当社は、安定的かつ継続的な配当を基本方針として、年間配当金15円を下限とし、連結配当性向30%をめどに業績に応じた配当を実施することとしております。

通期の連結業績予想につきましては、「業績予想の修正について」に記載のとおり、平成27年5月1日発表時の通期業績予想よりも下回る見通しとなりましたので、平成28年3月期の期末配当金予想を当初の21円から9円50銭(年間配当金17円)に修正させていただきます。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上